



最新の賃貸経営お役立ち情報

USAGI通信

No.679 2015年5月11日

安全・安心・快適な住まいを提供するために

入居時のちょっとした不満・不愉快は避けたいもの。途中退去のリスクを避け、気持ちよく長く住んでもらうために、弊社では以下のポイントを押さえています。

◆◆チェックポイントのひとつ、今回は『水まわり』です◆◆

水まわりは、入居者さん(特に親御様)は敏感です。しかし、新生活開始直後は何かと忙しく訪問調整が困難なため、改善まで日にちを要します。そこで、弊社では退去チェックの際に、耐用年数を踏まえて消耗部品交換を行っています。



内部のパッキンが劣化すると水漏れが起こります。



プラスチック製シャワーヘッドやホースの劣化が考えられます。

上記の写真でご紹介した水漏れは、パッキンの劣化が原因です。ゴムパッキン等の劣化していく商品は、取り替えまで約10年が目安です。部品交換の費用負担は比較的少額で済みますが、水道料金が管理費に含まれている場合、複数の部屋にわたると金額は大幅に増えます。また“水”という資源のムダ使いにもなります。転ばぬ先の杖ではありませんが、入居者の入替え時には交換を心がけております。